

注3

大学番号：私099

[平成31年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

東京成徳大学 国際学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京成徳学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画・IR室

職名・氏名 係長・内<sup>ウチ</sup>田<sup>タ</sup>善<sup>ヨシ</sup>浩<sup>ヒロ</sup>

電話番号 03-3908-4530

(夜間) 03-3908-4563

F A X 03-3907-6195

e-mail ir@tsu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 国際学部

＜国際学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 東京成徳学園

## (2) 大学名

東京成徳大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒114-0033

東京都北区十条台一丁目7番13号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キウチ ヒデキ) 木内 秀樹 (平成25年5月)		
学長	(アライ クニジロウ) 新井 邦二郎 (平成29年4月)		
学部長	(ハガ カツヒコ) 芳賀 克彦 (平成31年4月)		
学科長等	(オカモト カズヒコ) 岡本 和彦 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際学部 国際学科 学士(国際学)	文学関係	4年	81人	年次人	324人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	81 ( ) [ ]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.69倍	一倍	
志願者数	270 ( ) [ ]	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
受験者数	257 ( ) [ ]	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合格者数	115 ( ) [ ]	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
B 入学者数	56 ( ) [ ]	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
入学定員超過率 B/A	0.69	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	56 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2 年次	/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3 年次			/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )
4 年次	/				- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )
計			56 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( ) 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	56 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和4年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和5年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{56} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。









(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和元年度】**

- ・受講者多数の理由により、「健康スポーツ」の兼任講師の配置を「兼任講師1」から「兼任講師2」に変更。
- ・専任教員の昇任の理由により、「留学前ゼミナール」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授2」に変更。
- ・専任教員の昇任の理由により、「Reading 1」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・受講者の少数の理由により、「Reading 1」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・受講者の少数の理由により、「Writing 1」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の昇任の理由により、「ホームステイ英語」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・受講クラス編成の理由により、「韓国語会話1」の兼任講師の配置を「兼任講師1」から「兼任講師2」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
21 科目	130 科目	0 科目	151 科目	21 科目	130 科目	0 科目	151 科目	
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	哲学	2	1前	一般	選択	学生の学習時間確保のための時間割調整に伴い未開講。令和2年度に開講に向けて調整中。代替措置なし。
2	文学	2	1前	一般	選択	学生の学習時間確保のための時間割調整に伴い未開講。令和2年度に開講に向けて調整中。代替措置なし。
3	言語学	2	1前	一般	選択	学生の学習時間確保のための時間割調整に伴い未開講。令和2年度に開講に向けて調整中。代替措置なし。
4	社会学	2	1前	一般	選択	就任予定者休職によるもの。令和2年度開講に向けて調整中。代替措置なし。
5	ジェンダー論	2	1前	一般	選択	学生の学習時間確保のための時間割調整に伴い未開講。令和2年度に開講に向けて調整中。代替措置なし。
6	現代社会論	2	1前	一般	選択	就任予定者休職によるもの。令和2年度開講に向けて調整中。代替措置なし。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1年次前期における授業時間外での学習時間の確保を優先し、時間割の編成をおこなった。当該科目が未開講であっても学生の履修可能科目数や科目区分のバランスは十分に担保されており、また、当該科目が教養科目区分のため学年が上級となっても配当年次に下級年次が記されている科目を履修することが可能なため学生の履修計画に支障はない。なお、学生には、入学後の教務オリエンテーション時に『学生便覧』記載の「履修の要領」と時間割表を用いて詳細に説明し、周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

### (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{6}{151} = \boxed{3.97\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	共用：東京成徳短期大学（必要面積3,600㎡）			
	校舎敷地	70,555.33㎡	19,532.1㎡	0㎡	90,087.43㎡				
	運動場用地	47,056.39㎡	17,197㎡	0㎡	64,253.39㎡				
	小 計	117,611.72㎡	36,729.1㎡	0㎡	154,340.82㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	㎡				
	合 計	117,611.72㎡	36,729.1㎡	0㎡	154,340.82㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	共用：東京成徳短期大学（必要面積3,350㎡）				
	(13,297.22㎡)	(25,250.04㎡)	( 0㎡)	(38,547.26㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	60室	39室	46室	5室 (補助職員 4人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	国際学部 国際学科		13 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位で特定不能なため、大学全体の数	
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種						〔うち外国書〕
	国際学部国際学科	236,203 [26,885] (228,606 [26,962])	224 [21] (215 [21])	117 [140] (140 [140])	5,524 (5,534)	0 (0)	0 (0)		
	計	236,203 [26,885] (228,606 [26,962])	224 [21] (215 [21])	117 [140] (140 [140])	5,524 (5,534)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	2,197㎡		234席	248,025冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	5,223.35㎡		テニスコート、サッカー場、野球場、ゴルフ練習場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	450千円	450千円	図書購入費	10,237千円	12,369千円	2,500千円	
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	171,377千円	12,088千円	10,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		912千円	612千円	1,125千円	1,125千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東京成徳大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
心理学研究科 臨床心理学専攻 修士課程	2	18	-	36	修士 (心理学)	1.02	-	平成14	東京都北区十条台1丁目7番13号	
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (心理学)	0.66	-	平成15		
大学院全体	-	-	-	-	-	0.84	-	-		
大学の名称	東京成徳大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
人文学部	4	-	3年次	-	-	-	-	平成5	-	
日本伝統文化学科	4	-	-	-	学士 (日本伝統文化)	-	-	平成13	東京都北区十条台1丁目7番13号	平成31年学生募集停止
国際言語文化学科	4	-	-	-	学士 (国際言語文化)	-	-	平成13	同上	平成31年学生募集停止
応用心理学部	4	172	3年次	690	-	1.12	-	平成21	-	
臨床心理学科	4	112	-	448	学士 (臨床心理学)	1.15	-	平成21	同上	
健康スポーツ心理学科	4	60	1	242	学士 (健康・スポーツ心理学)	1.10	-	平成22	千葉県八千代市保田字中台谷2014番	
福祉心理学科	4	-	-	-	学士 (福祉心理学)	-	-	平成21	同上	平成30年学生募集停止
子ども学部	4	140	3年次	570	-	1.08	-	平成16	-	
子ども学科	4	140	5	570	学士 (子ども学)	1.08	-	平成16	東京都北区十条台1丁目7番13号	
経営学部	4	140	3年次	564	-	0.96	-	平成21	-	
経営学科	4	140	2	564	学士 (経営学)	0.96	-	平成21	同上	
国際学部	4	81	-	324	-	0.69	平成31	平成31	-	
国際学科	4	81	-	324	学士 (国際学)	0.69	平成31	平成31	同上	
大学全体	4	533	8	2148	-	0.96	-	-	-	

大学の名称	東京成徳短期大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
幼児教育学科	年	人	年次 人	人	短期大学士 (幼児教育 学)	倍	-	昭和41	東京都北区十条 台1丁目7番13号	
大学全体	2	180	-	360	-	1.05	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<国際学部 国際学科>

(1) ① 担当教員表

【届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	芳賀 克彦 (59) <平成31年4月> Master in Public and International Affairs (米国)
		グローバルスタディーズ入門 プロジェクト演習 卒業論文 English Conversation 1 English Conversation 2 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B アメリカ外交研究 国際協力・開発論 NGO論 国連研究 世界の宗教 English Discussion
専	教授 (学科長)	岡本 和彦 (52) <平成31年4月> 社会学修士
		近現代世界史 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 国際関係入門 国際教養分野研究 欧米地域研究 ヨーロッパ情勢 グローバリゼーション論 国際問題研究 平和学
専	教授	青柳 隆志 (60) <平成34年4月> 文学修士
		スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究
兼任	講師	青柳 隆志 (57) <平成31年4月> 文学修士
		スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	芳賀 克彦 (59) <平成31年4月> Master in Public and International Affairs (米国)
		グローバルスタディーズ入門 プロジェクト演習 卒業論文 English Conversation 1 English Conversation 2 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B アメリカ外交研究 国際協力・開発論 NGO論 国連研究 世界の宗教 English Discussion
専	教授 (学科長)	岡本 和彦 (52) <平成31年4月> 社会学修士
		近現代世界史 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 国際関係入門 国際教養分野研究 欧米地域研究 ヨーロッパ情勢 グローバリゼーション論 国際問題研究 平和学
専	教授	青柳 隆志 (60) <平成34年4月> 文学修士
		スタディ・スキル 文章表現演習 文学 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究
兼任	教授	青柳 隆志 (57) <平成31年4月> 文学修士
		スタディ・スキル 文章表現演習 文学 <b>(未開講)</b> 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 日本の歴史と文化 日本文化入門 日本史概論 日本文化研究 伝統芸能研究

【届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山下 琢巳 (62) ＜平成33年4月＞ 文学修士
		スタディ・スキル 文章表現演習 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本文学研究 日本美術研究 日本語概論 日本語史 日本語文法 日本語教育論1 日本語教育論2 日本語教授法1
兼任	講師	山下 琢巳 (59) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		スタディ・スキル 文章表現演習 日本語概論 日本語教育論1
専	教授	李 允希 (61) ＜平成31年4月＞ 教育学修士(韓国)
		留学前ゼミナール 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 韓国語会話1 韓国語会話2 留学韓国語 上級韓国語会話1 韓国語作文2 韓国語プレゼンテーション アカデミック韓国語 リーディングスキル1 リーディングスキル2 リーディングスキル3 リーディングスキル4 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 日韓比較文化論 韓国語通訳
専	教授	直井 文子 (61) ＜平成34年4月＞ 博士(人文科学)
		スタディ・スキル 文章表現演習 卒業論文 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講読A 中国語講読B
兼任	講師	直井 文子 (58) ＜平成34年4月＞ 博士(人文科学)
		スタディ・スキル 文章表現演習 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講読A 中国語講読B

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山下 琢巳 (62) ＜平成33年4月＞ 文学修士
		スタディ・スキル 文章表現演習 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 日本文学研究 日本美術研究 日本語概論 日本語史 日本語文法 日本語教育論1 日本語教育論2 日本語教授法1
兼任	教授	山下 琢巳 (59) ＜平成31年4月＞ 文学修士
		スタディ・スキル 文章表現演習 日本語概論 日本語教育論1
専	教授	李 允希 (61) ＜平成31年4月＞ 教育学修士(韓国)
		留学前ゼミナール 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 韓国語会話1 韓国語会話2 留学韓国語 上級韓国語会話1 韓国語作文2 韓国語プレゼンテーション アカデミック韓国語 リーディングスキル1 リーディングスキル2 リーディングスキル3 リーディングスキル4 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 日韓比較文化論 韓国語通訳
専	教授	直井 文子 (61) ＜平成34年4月＞ 博士(人文科学)
		スタディ・スキル 文章表現演習 卒業論文 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講読A 中国語講読B
兼任	教授	直井 文子 (58) ＜平成34年4月＞ 博士(人文科学)
		スタディ・スキル 文章表現演習 人文科学分野研究 東アジア地域研究 東アジア文化研究 中国語会話A 中国語会話B 中国語講読A 中国語講読B



## 【届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大和田 菜 (56) <平成31年4月> 文学修士
		言語学 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 比較文化入門 Writing1 Writing 2 Reading2 Vocabulary 資格英語1 資格英語2 アカデミック英語 ライティングスキル1 ライティングスキル2 ライティングスキル3 ライティングスキル4 World Englishes
専	教授	岩瀬 弘和 (49) <平成32年4月> 博士(情報工学)
		ICTリテラシー1 ICTリテラシー2 社会科学分野研究 自然科学分野研究 ICTスキルA(情報発信) ICTスキルB(画像処理) ICTスキルC(情報発信上級)
兼任	講師	岩瀬 弘和 (48) <平成31年4月> 博士(情報工学)
		ICTリテラシー1
専	准教授	高野 泰 (54) <平成32年4月> 博士(文学)
		専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 Reading 1 Reading 2 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2 ランゲージスキル3 ランゲージスキル4 アメリカ情勢 アメリカ社会文化論 比較文化論 アメリカ・カナダ文化研究
兼任	講師	高野 泰 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		Reading 1 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大和田 菜 (56) <平成31年4月> 文学修士
		言語学(未開講) 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 比較文化入門 Writing1 Writing 2 Reading2 Vocabulary 資格英語1 資格英語2 アカデミック英語 ライティングスキル1 ライティングスキル2 ライティングスキル3 ライティングスキル4 World Englishes
専	教授	岩瀬 弘和 (49) <平成32年4月> 博士(情報工学)
		ICTリテラシー1 ICTリテラシー2 社会科学分野研究 自然科学分野研究 ICTスキルA(情報発信) ICTスキルB(画像処理) ICTスキルC(情報発信上級)
兼任	教授	岩瀬 弘和 (48) <平成31年4月> 博士(情報工学)
		ICTリテラシー1
専	准教授	高野 泰 (54) <平成32年4月> 博士(文学)
		専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 Reading 1 Reading 2 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2 ランゲージスキル3 ランゲージスキル4 アメリカ情勢 アメリカ社会文化論 比較文化論 アメリカ・カナダ文化研究
兼任	准教授	高野 泰 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		Reading 1 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2

【届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	江澤 恭子 (53) <平成31年4月> 教育学修士
		留学前ゼミナール 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B卒業論文 Reading 1 Reading 2 ホームステイ英語 Journal Reading リーディングスキル1 リーディングスキル2 リーディングスキル3 リーディングスキル4 イギリス・アイルランド文化研究 オセアニア文化研究 英米文学研究 英語通訳 英語通訳演習
		水谷 清佳 (42) <平成34年4月> 修士(文学)
専	准教授	留学後ゼミナール 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 韓国語作文1 韓国語講読1 韓国語講読2 留学韓国語 ハンガルの世界 上級韓国語会話1 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2 ランゲージスキル3 ランゲージスキル4 ライティングスキル1 ライティングスキル2 ライティングスキル3 ライティングスキル4 韓国社会文化論
		水谷 清佳 (39) <平成31年4月> 修士(文学)
兼任	講師	留学後ゼミナール 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 韓国語作文1 韓国語講読1 韓国語講読2 留学韓国語 ハンガルの世界 上級韓国語会話1 韓国語プレゼンテーション 資格韓国語1 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2 ランゲージスキル3 ランゲージスキル4 ライティングスキル1 ライティングスキル2 ライティングスキル3 ライティングスキル4 韓国社会文化論
		水谷 清佳 (39) <平成31年4月> 修士(文学)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	江澤 恭子 (53) <平成31年4月> 教育学修士
		留学前ゼミナール 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B卒業論文 Reading 1 Reading 2 ホームステイ英語 Journal Reading リーディングスキル1 リーディングスキル2 リーディングスキル3 リーディングスキル4 イギリス・アイルランド文化研究 オセアニア文化研究 英米文学研究 英語通訳 英語通訳演習
		水谷 清佳 (42) <平成34年4月> 修士(文学)
専	准教授	留学後ゼミナール 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 専門ゼミナール2A 専門ゼミナール2B 卒業論文 韓国語作文1 韓国語講読1 韓国語講読2 留学韓国語 ハンガルの世界 上級韓国語会話1 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2 ランゲージスキル3 ランゲージスキル4 ライティングスキル1 ライティングスキル2 ライティングスキル3 ライティングスキル4 韓国社会文化論
		水谷 清佳 (39) <平成31年4月> 修士(文学)
兼任	准教授	留学後ゼミナール 専門ゼミナール1A 専門ゼミナール1B 韓国語作文1 韓国語講読1 韓国語講読2 留学韓国語 ハンガルの世界 上級韓国語会話1 韓国語プレゼンテーション 資格韓国語1 ランゲージスキル1 ランゲージスキル2 ランゲージスキル3 ランゲージスキル4 ライティングスキル1 ライティングスキル2 ライティングスキル3 ライティングスキル4 韓国社会文化論
		水谷 清佳 (39) <平成31年4月> 修士(文学)

## 【届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	Daiana Constantin (33) <平成31年4月> 修士(国際学)
		留学前ゼミナール 留学後ゼミナール プロジェクト演習 異文化コミュニケーション Writing 1 Writing 2 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 アフリカ情勢
		Saito Timothy James (38) <平成32年4月> Bachelor of Education(豪州)
専	助教	Reading 1 Writing 1 Writing 2 Vocabulary ホームステイ英語 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 資格英語1 資格英語2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 観光英語 English Business Presentation
		Saito Timothy James (37) <平成31年4月> Bachelor of Education(豪州)
兼任	講師	Reading 1 Writing 1 Writing 2 Vocabulary ホームステイ英語 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 資格英語1 資格英語2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 観光英語 English Business Presentation
		Reading 1 Writing 1 Writing 2 Vocabulary ホームステイ英語 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 資格英語1 資格英語2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 観光英語 English Business Presentation
兼任	教授	鵜瀬 由己 (64) <平成31年4月> 経済学士
兼任	准教授	経済学
		池田 善英 (56) <平成33年4月> 文学修士
兼任	准教授	言語生活と心理
		言語生活と心理

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	Daiana Constantin (33) <平成31年4月> 修士(国際学)
		留学前ゼミナール 留学後ゼミナール プロジェクト演習 異文化コミュニケーション Writing 1 Writing 2 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 スピーキングスキル1 スピーキングスキル2 スピーキングスキル3 スピーキングスキル4 アフリカ情勢
		Saito Timothy James (38) <平成32年4月> Bachelor of Education(豪州)
専	助教	Reading 1 Writing 1 Writing 2 Vocabulary ホームステイ英語 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 資格英語1 資格英語2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 観光英語 English Business Presentation
		Saito Timothy James (37) <平成31年4月> Bachelor of Education(豪州)
兼任	講師	Reading 1 Writing 1 Writing 2 Vocabulary ホームステイ英語 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 資格英語1 資格英語2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 観光英語 English Business Presentation
		Reading 1 Writing 1 Writing 2 Vocabulary ホームステイ英語 Advanced English Conversation 1 Advanced English Conversation 2 資格英語1 資格英語2 English Presentation ビジネス英語1 ビジネス英語2 観光英語 English Business Presentation
兼任	准教授	池田 善英 (56) <平成33年4月> 文学修士
		言語生活と心理
兼任	准教授	言語生活と心理
		言語生活と心理

【届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	原田 大 (43) <平成31年4月> 修士(国際開発)
		地球環境問題
兼任	准教授	堤 孝晃 (35) <平成31年4月> 修士(教育学)
		社会学 現代社会論
兼任	講師	李 正勲 (46) <平成31年4月> 修士(国際関係学)
		韓国語会話1 韓国語会話2 資格韓国語1 資格韓国語2 ビジネス韓国語1 ビジネス韓国語2 アジア情勢 日韓関係論 韓国語ビジネスプレゼンテーション
兼任	助教	石川 雅俊 (39) <平成31年4月> 博士(法学)
		法学
兼任	助教	森下 達 (33) <平成33年4月> 博士(文学)
		表象文化研究
兼任	講師	猪又 優 (57) <平成31年4月> 社会情報学修士
		キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 キャリアデザイン3 インターンシップ ビジネスプレゼンテーション概論
兼任	講師	関口 光春 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学
兼任	講師	藤田 和美 (54) <平成31年4月> 文学修士
		ジェンダ-論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	堤 孝晃 (35) <調整中> 修士(教育学)
		社会学(未開講) 現代社会論(未開講)
兼任	助教	李 正勲 (46) <平成31年4月> 修士(国際関係学)
		資格韓国語1 資格韓国語2 ビジネス韓国語1 ビジネス韓国語2 アジア情勢 日韓関係論 韓国語ビジネスプレゼンテーション
兼任	特任教授	猪又 優 (57) <平成31年4月> 社会情報学修士
		キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 キャリアデザイン3 インターンシップ ビジネスプレゼンテーション概論
兼任	助教	山田裕生 (32) <平成31年4月> 修士(体育学)
		健康スポーツ
兼任	講師	関口 光春 (61) <調整中> 博士(文学)
		哲学(未開講)
兼任	講師	藤田 和美 (54) <調整中> 文学修士
		ジェンダ-論(未開講)

【届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	望月 幹雄 (67) <平成31年4月> 体育学修士 健康スポーツ
兼任	講師	澤内 隆 (67) <平成31年4月> 文学士 地理学
兼任	講師	岡田 一郎 (45) <平成31年4月> 博士(法学) 政治学
兼任	講師	朴 天弘 (41) <平成31年4月> 修士(学術) 韓国語会話2 韓国語作文1 韓国語講読1 ビジネス韓国語1 ビジネス韓国語2 上級韓国語会話2 資格韓国語2 観光韓国語 韓国語通訳演習 韓国語ディスカッション 韓国語ビジネスプレゼンテーション
兼任	講師	郭 未任 (59) <平成32年4月> 博士(人文科学) 韓国語作文1 韓国語作文2 韓国語講読1 韓国語講読2 資格韓国語1 ビジネス韓国語2 上級韓国語会話1 観光韓国語 時事韓国語
兼任	講師	桜井 正 (52) <平成32年9月> 経営管理修士 旅行業A 旅行業B

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中井 達郎 (63) <平成31年4月> 博士(理学) 地球環境問題 地理学
兼任	講師	岡田 一郎 (45) <平成31年4月> 博士(法学) 政治学
兼任	講師	睦 俊秀 (36) <平成31年4月> 修士(学術) 韓国語作文1 韓国語講読1
兼任	講師	郭 未任 (59) <平成32年4月> 博士(人文科学) 韓国語講読1 韓国語講読2 資格韓国語1 ビジネス韓国語2 上級韓国語会話1 観光韓国語 時事韓国語
兼任	講師	崔 英姫 (42) <平成31年4月> 修士(学術) 韓国語会話1 韓国語会話2
兼任	講師	桜井 正 (52) <平成32年9月> 経営管理修士 旅行業A 旅行業B

## 【届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村田 宏子 (60) <平成33年9月> 法学士 伝統文化研究
兼任	講師	堀内 貴子 (36) <平成33年9月> 修士(応用言語学) 日本語音声学 日本語教授法2
兼任	講師	加藤 登美恵 (62) <平成34年4月> 学士(国際関係学) 日本語教育実習

## 【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村田 宏子 (60) <平成33年9月> 法学士 伝統文化研究
兼任	講師	堀内 貴子 (36) <平成33年9月> 修士(応用言語学) 日本語音声学 日本語教授法2
兼任	講師	加藤 登美恵 (62) <平成34年4月> 学士(国際関係学) 日本語教育実習
兼任	講師	山口知恵 (51) <平成31年4月> 体育学修士 健康スポーツ
兼任	講師	鈴木 隆 (55) <平成31年4月> 法学修士 法学
兼任	講師	李 南錦 (49) <平成31年4月> 学術博士 韓国語会話1 韓国語会話2
兼任	講師	中村 宙正 (42) <平成31年4月> 博士(経済学) 経済学
兼任	講師	森下 達 (33) <平成33年4月> 博士(文学) 表象文化研究

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・青柳隆志教授の職名を兼任 教授に変更。
- ・山下琢巳教授の職名を兼任 教授に変更。
- ・直井文子教授の職名を兼任 教授に変更。
- ・岩瀬弘和教授の職名を兼任 教授に変更。
- ・高野泰准教授の職名を兼任 准教授に変更。
- ・江澤恭子准教授昇任により職名を教授に変更。
- ・水谷清佳准教授の職名を兼任 准教授に変更。
- ・Saito Timothy James講師本学専任採用前のため兼任を兼任に変更。
- ・鶴瀬由己教授（兼任） 就任辞退により「経済学」を中村宙正講師（兼任）に変更。
- ・原田大准教授（兼任） 就任辞退により「地球環境問題」を中井達郎講師（兼任）に変更。
- ・堤孝晃准教授（兼任） 休職により就任時期を調整中。
- ・李正勲（兼任）の職名を兼任 助教に変更。
- ・李正勲助教（兼任） 就任辞退により「韓国語会話1」「韓国語会話2」を李南錦講師（兼任）に変更。
- ・石川雅俊（兼任） 就任辞退により「法学」を鈴木隆講師（兼任）に変更。
- ・猪又優（兼任）の職名を兼任 特任教授に変更。
- ・森下達助教（兼任） 退職により兼任 講師に変更。
- ・望月幹雄講師（兼任） 就任辞退により「健康スポーツ」を山田裕生助教（兼任）に変更。
- ・関口光春（兼任） 未開講のため就任時期を調整中。
- ・藤田和美（兼任） 未開講のため就任時期を調整中。
- ・澤内隆講師（兼任） 就任辞退により「地理学」を中井達郎講師（兼任）に変更。
- ・山口知恵講師（兼任） 「健康スポーツ」を採用。
- ・朴天弘（兼任） 就任辞退により「韓国語作文1」「韓国語購読1」を陸俊秀講師（兼任）に変更。
- ・朴天弘（兼任） 就任辞退により「韓国語会話2」廃止。クラス編成上同名授業が開講されているため問題なし。
- ・郭末任（兼任）の「韓国語作文2」「韓国語購読1」を崔英姫（兼任）に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条表第一、短期大学設置基準第二十二表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	3	0	2	13	5	0	0	1	5
(3)	(1)	(0)	(1)	(5)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
9	2	0	2	13	9	2	0	2	13
[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
60 歳	2 名	6 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{13} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{5} = \boxed{40} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
		該当なし							
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし							
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成30年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成年度前に定年既定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> </ul>	遵守事項  <ul style="list-style-type: none"> <li>・定年を超える専任教員は本学の教育・研究上必要なため定年延長の措置を適切に講じている。</li> </ul>	履行中  <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は教員組織の年齢構成に配慮し教員を採用していく予定である。</li> </ul>
設置計画履行状況 調 査 時 (〇〇年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <国際学部 国際学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学部にFD委員会を設置。</li> <li>・ 大学に東京成徳大学教育研究改善委員会及び東京成徳大学・東京成徳短期大学SD・FD活動推進委員会設置。</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学部のFD委員会規程を5月中に整備予定。</li> <li>・ 東京成徳大学教育研究改善委員会は平成30年度6回開催。</li> <li>・ 平成30年度は全学のSD研修会を3回開催。</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育課程や研究の方針に関する事項。</li> <li>・ 点検・評価の基本方針、項目設定、実施に関する事項。</li> <li>・ 点検・評価結果の公表及びそれに基づく教育研究活動の改善に関する事項。</li> <li>・ 認証評価機関による評価に関する事項。外部評価に関する事項。学生代表評価に関する事項</li> <li>・ 全学のSD・FD活動のための研修会に関する事項。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学修調査、学生満足度調査、卒業時アンケート、就職先アンケート、卒業後アンケート</li> <li>・ 全学SD・FD研修会</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象となる在学生及び企業・団体、卒業生にアンケートを配布及び送付より実施。 実施率90%以上を目指す。</li> <li>・ 全専任教職員を対象とした研修会を年次計画に従い実施。</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査やアンケートについては調査結果を分析し、内容をホームページや冊子として図書館において閲覧できる。</li> <li>・ 研修会については全教員の参加を促し、業務上やむをえない場合を除き全教員が参加している。</li> </ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>調査やアンケートの結果等を踏まえ授業改善のためにシラバスの記入内容の検討や成績不振者へのアドバイス等の教育研究改善活動への体制強化のための規程整備をおこなっている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>授業評価アンケート実施 有</p> <p>毎年度前期講義終了時7月及び後期講義終了時1月に実施予定</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>教員へは担当科目の調査及び分析結果について各人にメールにて送付。</p> <p>学生等にはホームページ等にて公開。</p>
---

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

- a 審議した内容
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、東京成徳大学教育研究改善委員会のもと継続的に自己点検・評価をおこなっており、学部においても自己点検・評価を実施し、改善活動を行っていきが、開設年度の入学定員81名に対し56名という結果についてまずは点検・評価をおこない募集活動の見直しや教育活動の改善に取り組む。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
  - ・令和2年3月末 公表（予定）
- b 公表方法
  - ・大学ホームページ上に公開予定（令和2年3月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和4年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年9月30日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注） ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

# 東京成徳大学教育研究改善委員会規程

(趣旨)

**第1条** この規程は、学校法人東京成徳学園教育研究改善（自己点検・評価）委員会規程第7条第3項ならびに東京成徳大学大学運営委員会第2条第2項の規定に基づいて設置する東京成徳大学教育研究改善委員会（以下「委員会」という。）の運営に関する事項について定めるものである。

(組織)

**第2条** 委員会は、学長を委員長とし、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学部長及び研究科長
  - (2) 学科長
  - (3) 基礎・教養教育センター長
  - (4) 事務局長及び事務局次長
  - (5) 企画・IR室長
  - (6) 教学マネジメント・オフィサー
  - (7) カリキュラム・コーディネーター
  - (8) 法人本部長が指名する法人事務局員1名
  - (9) その他学長が指名する者
- 2 委員会に副委員長を置き、学長が委員の中から指名する。
- 3 理事長は、委員会に出席して意見を述べることができる。

(審議事項)

**第3条** 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育課程や研究の全学的な方針に関する事項
- (2) 点検・評価の基本方針に関する事項
- (3) 点検・評価項目の設定に関する事項
- (4) 点検・評価の実施に関する事項
- (5) 点検・評価結果の公表及びそれに基づく教育研究活動等の改善に関する事項
- (6) 認証評価機関による評価に関する事項
- (7) 外部評価に関する事項
- (8) 学生代表者評価に関する事項
- (9) 委員長が必要と認めた事項

(点検・評価の項目)

**第4条** 点検・評価の項目については、学長が決定する。

(会議)

**第5条** 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。
- 3 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる。

(専門委員会)

**第6条** 委員会は、第3条に定める審議事項を専門的に処理するため、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

- 2 専門委員会の構成その他必要な事項は、別に定める。

(実施委員会)

**第7条** 各学部・研究科は、教育課程や研究の方針並びに自己点検及び評価を円滑に実施するため、必要に応じて各学部・研究科に教育研究改善実施委員会（以下「実施委員会」という。）を置くことができる。

2 実施委員会の構成その他必要な事項は、各学部・研究科が定めて委員長に報告する。

(結果の報告)

**第8条** 委員会は、原則として、大学全体の点検・評価を行い、その結果について学外の有識者並びに学生代表者等に意見を求めなければならない。

2 学長は、学外の有識者等の意見を含む自己点検・評価の結果を報告書に取りまとめて、理事長に報告するとともに、これを公表するものとする。

(改善への取り組み)

**第9条** 学長は、改善を要する事項について当該学部長等に改善の実施を求め、その実現を図らなければならない。

2 改善を求められた学部長等は、委員会に改善計画及び改善結果の報告を行わなければならない。

(庶務)

**第10条** 委員会の庶務は、事務局八千代総務課の協力を得て、総務課が処理する。

(細則)

**第11条** この規程の改廃は、大学運営委員会が行う。

2 この規程に定める事項の解釈に疑義があるときは、委員長がこれを決定する。

#### 附 則

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程は、平成17年5月1日から施行する。

#### 附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程は、平成29年4月1日から適用する。

#### 附 則

この規程は、平成30年4月1日から適用する。

#### 附 則

この規程は、2018年4月1日から適用する。



## 東京成徳大学・東京成徳短期大学 SD・FD 活動推進委員会規程

(趣旨)

**第1条** この規程は、東京成徳大学・東京成徳短期大学における教職員の SD・FD 活動を推進するために設置する東京成徳大学・東京成徳短期大学 SD・FD 活動推進委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

(目的)

**第2条** 委員会は、教育方法の改善による教育研究活動の活性化、並びに教職員の大学運営に必要な能力・資質の向上による大学運営の活性化を図るための組織的な活動（以下「SD・FD 活動」という。）を企画・実施することを目的とする。

(業務)

**第3条** 委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) SD・FD 活動の基本方針の策定
- (2) SD・FD 活動の実施計画の策定及び実施
- (3) SD・FD 活動に関する情報の収集と提供
- (4) その他 SD・FD 活動に関すること

(組織)

**第4条** 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 大学長、短期大学長
- (2) 学部長、研究科長、科長
- (3) 企画・IR 室長
- (4) 学部・研究科・科の SD・FD 担当教員各 1 名
- (5) 事務局長、事務局次長
- (6) その他大学長、短期大学長が指名する者

2 大学長が委員長となり、委員会の議長を務める。

3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名した者とし、委員長が職務を遂行できないときはその職務を代行する。

(会議)

**第5条** 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ議事を開くことができない。

2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(委員以外の出席)

**第6条** 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め意見を聴くことができる。

(庶務)

**第7条** 委員会の庶務は、事務局総務課が処理する。

(細則)

**第8条** この規程の改廃は、短期大学教授会及び大学運営委員会の意見を聴いて、大学長が行う。

2 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

### 附 則

1 この規程は、2018 年 10 月 1 日から施行する。

2 この規程の制定に伴い、東京成徳大学 SD 活動推進委員会規程、並びに東京成徳短期大学 SD 活動推進委員会規程は廃止する。